

# しまねの もり 森林

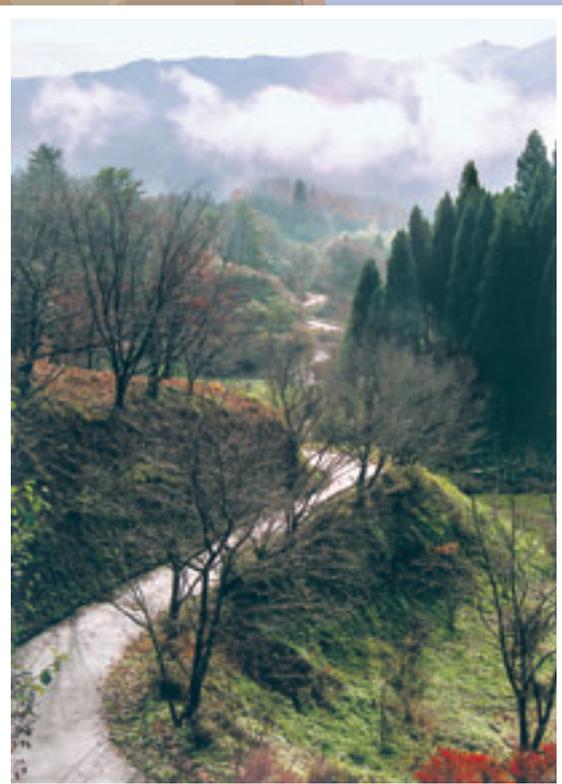
NO.

# 9

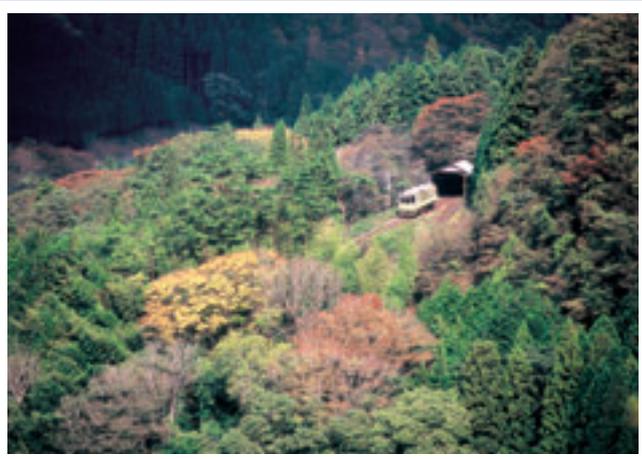
平成19年10月号 通巻249号



2007 しまねの森林フォトコンテスト 入賞作品



特選「初冬の奥山」 雲南市木次町  
榎野朝雄 / 松江市



準特選「森の佇まい」 奥出雲町  
佐伯範夫 / 安来市

## 2 森林のたより 石見銀山地域における森林整備・保全プロジェクト

西部農林振興センター 県央事務所 林業普及グループ

## 4 森林のトピックス 安全・安心な山の幸を食卓へお届けします!

林業課 木材振興室

### 狩猟への理解と狩猟者拡大への取り組み

森林整備課 鳥獣対策室

## 6 ズームアップ 2007『しまねの森林』フォトコンテスト 入賞作品決定!!

「しまねの森林」発行委員会

## 7 森林へ行こう! vol.⑤ 船通山 (奥出雲町)

しまねの自然

森林と野鳥① キツツキのなかま

## 8 森林のQ&A ドングリの木がたくさん枯れるのはどうしてですか?

林業課 林業普及スタッフ

## 9 森林の研究 竹資源の有効利用技術の開発

中山間地域研究センター 資源環境グループ

10月は  
「木づかい推進月間」  
です!

# 2008『しまねの森林』フォトコンテスト開催中

詳細は10ページをご参照ください。



島根県の間伐材を使用した印刷用紙・間伐ホワイト(国産材・間伐材パルプ10%を含む)70%を配合)を使用しています。

表紙の説明

◇2007「しまねの森林」  
フォトコンテスト入賞  
作品

「しまねの森林」発行委員会では、島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林をより多くの人々に理解していただくために、テーマを「しまねの森林」として、今年で第2回となるフォトコンテストを開催し、入賞作品を決定しました。

詳しくは、6ページのズームアップで紹介しています。

表紙の作品は、特選及び準特選の2作品です。

◇2008「しまねの森林」  
フォトコンテスト開催  
中!!

「しまねの森林」発行委員会では、テーマを「しまねの森林」として、第3回となる2008「しまねの森林」フォトコンテストを開催します。今回は部門別に各賞を用意しておりますので、写真に興味のある中学生や高校生の皆さんもふるって御応募下さい。

詳しくは、表紙及び10ページのインフォメーションをご覧ください。

メールマガジン「しまねの森林」  
メンバー募集中!

森林・林業・木材産業に関する各種の情報を満載したメールマガジンを配信します。

◆登録方法  
メールマガジンを受信するための手続きは簡単です。  
パソコン・携帯電話からアドレス ringyo@pref.shimane.lg.jp へ 題名「メルマガ登録」として、ご職業、お住まいの市町村名をメール送信していただければ、登録完了となります。

森林のたより

石見銀山地域における  
森林整備・保全プロジェクト

(新しまね森林・林業活性化プラン後期施策：地域プロジェクト)

西部農林振興センター 県央事務所 林業普及グループ

■石見銀山遺跡の世界遺産登録

『石見銀山遺跡とその文化的景観』は、7月にニュージーランドで開催された第31回世界遺産委員会において、国内では14件目、中国地方では3件目の世界遺産として、またアジアでは初めての産業遺産として登録されました。

石見銀山遺跡は、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）から、世界遺産が有すべき「顕著で普遍的な価値」の証明等との関係で、登録延期の勧告を受けましたが、世界遺産委員会では銀鉱山に関わる土地利用の総体を表す文化的景観としての価値、16世紀から17世紀の日本や東南アジアの経済発展を支えた鉱山としての価値などが認められて、登録に至りました。

石見銀山遺跡とその周辺では、かつて銀鉱石の精錬に必要とされた膨大な木材燃料の供給が、森林資源の適切な管理のもとに行われたことにより、今日でも豊かな森林を残しています。このように鉱山に関係する遺跡と豊かな自然環境が一体となって文化的景観を形成する例は、世界的に極めて貴重であり、「木を切れば植林する自然と共生した鉱山活動」が、逆転へのキーワードになったとユネスコ政府代表部の近藤誠一大使も語っています。



プロジェクト対象森林：大田市石見銀山景観保全条例で定める保全地域の森林約3,000ha（上図参照）

未来を見つめ、人と自然と産業の豊かな調和をめざします。

農林中央金庫

松江支店

松江市殿町175 TEL (0852) 21-4411

緑と水を育む豊かな森を明日の世代へ

— 制度資金のご融資を通じて地元林業を応援します —

農林漁業金融公庫  
松江支店

〒690-0887 松江市殿町111番地(松江センチュリービル7F)  
TEL : 0852-26-1133 E-mail : matsue@afc.go.jp  
FAX : 0852-24-5334 HP : http://www.afc.go.jp

## ■ 森林整備・保全プロジェクトの概要

「石見銀山地域における森林整備・保全プロジェクト」は、このように世界的な評価を受けた石見銀山遺跡（文化財指定地域）周辺のバッファゾーンにおいて、公益的機能の低下した森林や放置竹林などを、「誰がどのような形で管理・保全していくか」という大きな方向性を示し、遺跡と調和した森林整備等をめざしていくことを目的としており、大田市、大田市森林組合、江の川下流流域林業活性化センター、地元の「石見銀山維持・保全活動連絡会議」等の関係者、及び県が連携した取り組みを行うものです。

このプロジェクトでは、石見銀山周辺の植生調査や地域の多様な担い手による森林保全活動等が開始されており、継続した取り組みを推進していくこととしています。

### ◇ 「企業の森」による森林整備

島根県が創設した「しまね企業参加の森づくり制度」の第1号として、平成18年11月29日に山陰合同銀行と県、関係市町村・森林組合の間で「森林保全活動に関する協定書」の調印が行われました。石見銀山遺跡にほど近い「ふれあいの森公園」に隣接した協定対象森林では、同銀行の行員等による森林保全活動（間伐作業等）が去る7月7日（土）と8日（日）の2日間にわたり実施され、プロジェクトメンバーも支援に駆けつけました。



### ◇ 県産材ベンチを石見銀山遺跡へ設置

島根県の「水と緑の森づくり税」を使った公募事業により、大田市内の林業関係者、工務店等で結成された「石州素舞流（せきしゅうすまいる）」が、去る8月25日（土）に市民を対象とした木工教室を開催し、製作した県産スギ材仕様様の木製ベンチ20脚を大田市に寄贈しました。このベンチは、拠点施設「石見銀山世界遺産センター」のある「ふれあいの森公園」周辺に設置される予定です。



## ■ 今後の取り組み

NPO法人やボランティア等の取り組みとして、10月6日（土）～7日（日）には、石見銀山・世界遺産を守る森づくりをテーマとした第15回全国雑木林会議が大田市大田町の三瓶ダム公園で開催され、11月17日（土）には、第2回「企業の森」活動による植樹が協定対象森林で実施され、プロジェクトメンバーが支援することとしています。

また、「水と緑の森づくり税」を使った「県民再生の森事業」や、森林所有者等への木竹等の伐採に係る手続きの周知・徹底などもプロジェクトの一環として実施する予定です。

石見銀山遺跡が位置する県央地域では、この世界遺産を活かした様々な取り組みが各地区で行われているところです。これらの取り組みをより広域的、横断的に進めることは、県央地域をはじめとする県全体の活性化に繋がるものと期待されます。

### 地球にやさしいカートカン

※国産材30%以上使用した紙製飲料容器です。

ep  
new products awards  
2016

カートカン(紙製飲料容器)  
カートカン缶  
東三浦エコーボックス大野  
エコプロダクツ部門  
島根水産大臣賞受賞

3.9  
AWARD

●紙製飲料容器「カートカン」は  
ストローいらずでゴクゴク飲めます!

### カートカンのサイクル

「捨てる」「捨てる」のサイクル

30%以上  
国産材を  
使用しています

POKKA

am-soda「自販機本舗」  
0315634-1621まで

POKKA コーポレーション  
<http://www.pokka.co.jp/>

## 安全・安心な山の幸を食卓へお届けします!

林業課 木材振興室

### ■「環境にやさしい・しまね安心きのこ」

島根県がめざす新しいきのこのキーワードは、「環境にやさしい・しまね安心きのこ」です。「きのこの生産を通じて森を元気にし、豊かな森を未来に引き継いで行きたい。」「消費者に安心して島根産きのこを選んでいただきたい。」という気持ちを込めた言葉です。

### ■島根県エコロジーきのこ推奨制度

島根県では、農薬や化学肥料の使用量が、慣行栽培の半分以上であるなどの基準を満たした農産物について、島根県知事が推奨する「島根県エコロジー農産物推奨制度」を平成12年度から運用していますが、今年7月、この推奨制度にきのこを追加して、「エコロジーきのこ推奨制度」を創設しました。



島根県産生しいたけの9割以上を占める菌床栽培

#### Q1 エコロジーきのこってどんなきのこ?

A1 安全、安心、環境貢献をコンセプトとして生産されたきのこで、島根県が自信をもってお勧めするものです。県内で最も生産量の多い生しいたけから推奨をスタートさせます。

#### Q2 島根県が考える安全、安心、環境貢献きのこって?

A2 「安全」とは、衛生管理を徹底し、農薬を使用せず、出荷基準を守ること。「安心」とは、誰が、どのように生産したものが消費者に伝わること。「環境貢献」とは、地域の森を守り育て、資源の循環に配慮した産地であることと考えます。

#### Q3 エコロジーきのこの見分け方は?

A3 店頭で、この  推奨マークがついているきのこを探してみてください。

#### Q4 エコロジーきのこを生産するにはどうしたらいいのか?

A4 島根県が今年3月に策定した「島根県安心きのこ生産マニュアル」で生産方法を確認してください。推奨には、県の審査を受ける必要があります。



◆制度の詳細については、「しまね安心きのこ相談窓口」（林業課木材振興室内）、または最寄りの隠岐支庁・農林振興センター・地域事務所の林業普及員へお気軽にお問い合わせ下さい。

### 森林の中で働く人のお手伝いをします

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 高性能林業機械の貸付
5. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
6. 雇用改善のための啓発活動

島林労働 |

検索



### 島根県林業労働力確保支援センター（社団法人 島根県林業公社内）

松江市母衣町55番地4(松江商工会議所ビル6F) TEL(0852)32-0253 FAX(0852)21-4375  
E-Mail shimane-roukakuc@forestry-shimane.or.jp

# 狩猟への理解と狩猟者拡大への取り組み

## ～島根県における狩猟の現状と課題～

森林整備課 鳥獣対策室

### はじめに

狩猟は、狩猟者個人の趣味としての魅力のほか、自然資源の合理的かつ持続的な利用による自然の保全や、農林水産業に被害を及ぼす野生鳥獣等の捕獲による被害防止など、大きな役割を担っています。

### 狩猟者の現状

島根県内において、昭和50年度に6千人であった狩猟免許取得者は、平成18年度には3千6百人と約6割まで減少しています。狩猟免許の取得割合も、以前は散弾銃やライフル銃を使用する第1種銃猟免許取得者が全体の約9割を占めていましたが、近年は網・わな猟免許取得者の割合が増加し、半分以上を占めています。また、年齢別では高齢者の占める割合が高くなっており、60歳以上の占める割合が5割を超えています。

### 直面する課題

狩猟者の減少や高齢化などは、自然の保全や、有害鳥獣捕獲に携わる捕獲班員の確保に大きな影を落としており、近い将来、県内各市町村において捕獲班が編成できない事態が懸念されています。

### 狩猟への理解

県では、県民の皆様へ狩猟への理解を深めていただくことを目的とした「狩猟講座」を10月21日(日)に開催します。広く県民の皆様にご参加いただき、狩猟の意義や役割について理解を深めていただくとともに、狩猟者の増加につながれば幸いです。

また、今年度は再度、狩猟免許試験の開催を下表のとおり予定しておりますので、是非、チャレンジしてください。

#### ◇狩猟免許試験事前講習会

日時 平成19年11月7日(水) 場所 雲南合同庁舎

#### ◆狩猟免許試験

〈東部会場〉

日時 平成19年11月21日(水) 場所 松江合同庁舎

〈西部会場〉

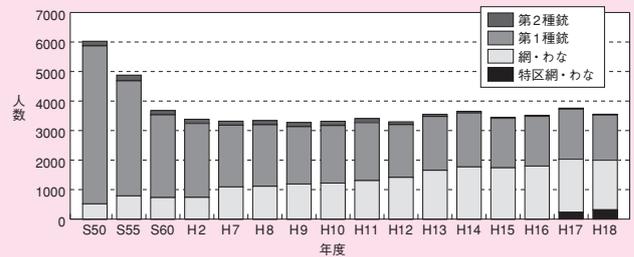
日時 平成19年11月28日(水) 場所 浜田合同庁舎

### 狩猟免許の種類

※平成19年4月改正施行

- 網猟免許 (むそう網、つき網など)
- わな猟免許 (くくりわな、箱わななど)
- 第1種銃猟免許 (散弾銃、空気銃など)
- 第2種銃猟免許 (空気銃)

### 狩猟免許所持者数の推移



## 自然との調和

### 松くい虫防除薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
ヤシマスミパインMC  
マツグリーン液剤2  
モリエート SC

### 松くい虫駆除薬剤

バークサイドF  
ヤシマ NCS  
ちゅらシート

### 松くい虫予防薬剤

グリーンガード・エイト

### 瞬間殺蜂スプレー

ハチノックL・S



**ヤシマ産業株式会社** 大阪営業所  
〒532-0011 大阪市淀川区中島7-1-26 オリエンタルビル5F  
TEL 06-6886-0241 FAX 06-6886-0242



## 2007『しまねの森林』フォトコンテスト 入賞作品決定!!

「しまねの森林」発行委員会

島根県の森林・林業総合情報誌「しまねの森林」では、県内の恵み豊かな自然、緑豊かな森林の魅力を広く理解していただくために、2006年からフォトコンテストを開催しています。

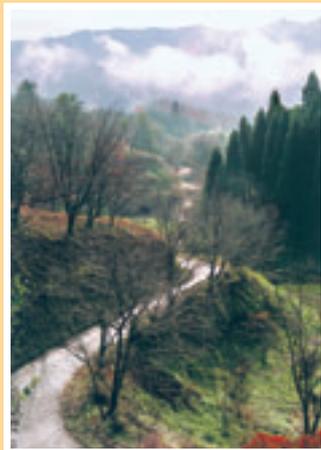
第2回となる2007『しまねの森林』フォトコンテストは、第1回と同様にメインテーマを「しまねの森林」として、島根の森林や樹木に関わる幅広いテーマを掲げて開催しました。

昨年10月から今年7月31日までの募集期間に、県内外30名の方から64点の作品の応募があり、去る9月12日（水）に日本写真協会会員の成相吉堯氏（松江市在住）を審査委員長とする審査委員会（審査委員5名）により、厳正な審査を実施して、入賞作品を決定しました。入賞者の皆様には、賞金及び記念品を贈呈することとしています。

2008年も引き続きフォトコンテストを開催していますので、より多くの方からの応募を期待しています。

### 2008『しまねの森林』 フォトコンテスト 開催中!

詳しくは10ページの  
インフォメーションを  
ご覧下さい。



#### 特選

#### 「初冬の奥山」

榎野朝雄（松江市）



#### 準特選

#### 「森の佇まい」

佐伯範夫（安来市）

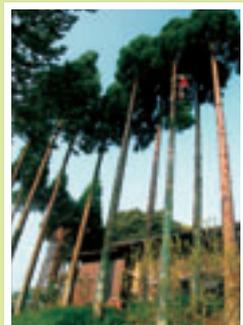
### 入選・佳作



入選「千年杉」  
横田真由美（益田市）



入選「秋朝」  
藤江松男（出雲市）



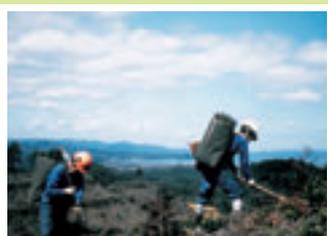
入選「スッキリ、サッパリ」  
知野見誠司（大田市）



佳作「山に活力を」  
中野安一（吉賀町）



佳作「Blue hills」  
安江浩樹（大田市）



佳作「豊かな未来へ」  
水野光徳（松江市）



佳作「雨あがりの椎茸採取」  
岩谷貞子（大田市）



佳作「初秋の日」  
鶴島里子（松江市）

# 森林へ行こう! vol. 5

## せん とう ざん 船通山

●奥出雲町／標高：1,143m



八岐大蛇の出現を連想させる雲間の船通山

船通山は、鳥取県（日南町）との県境に位置し、宍道湖から中海を経て日本海へ注ぐ一級河川、斐伊川源流の森林を育む山です。

古くは、「鳥髪とりかみの峰」と呼ばれ、有名な神話「八岐大蛇退治やまたのおろち」では、高天原たかまがはらからこの地に降臨したスサノオノミコトが、この山に棲む八岐大蛇を退治して、クシナダヒメを助け、退治した大蛇の尾から取り出した剣をアマテラスオオミカミに献上したことが伝えられています。この剣が、「三種の神器」の一つ「天叢雲剣あめのむらくものつるぎ」で、船通山の頂上にはその出顕地の碑が建てられています。

登山路は、いくつかありますが日本三大美肌湯温泉の「ヴィラ船通山・斐乃上荘」から、周回可能な鳥上滝コースと亀石コースが一般的です。何れも片道1時間30分程度の行程です。

山頂からは、360度の展望が開け、大山だいせん、三瓶山さんべさん、吾妻山あずまやまなどが一望でき、春にはカタクリの花が美しく咲きます。また、山頂から南の鳥取県側には樹齢1000年以上と言われ、国の天然記念物ともなっているイチイ（イチイ科の常緑針葉樹）の巨木があります。

紅葉の季節、神話の山でリフレッシュしてみませんか。

(H.N)



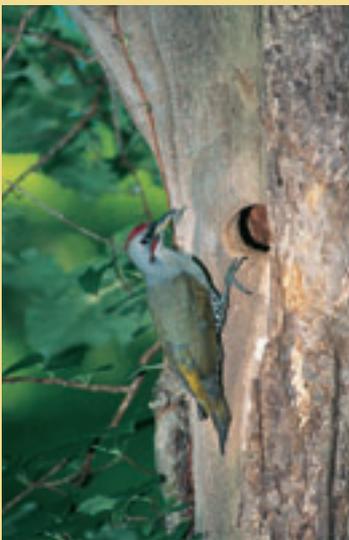
頂上に建つ「天叢雲剣」出顕地の碑

## しまねの自然

### 森林と野鳥 ①

## キツツキのなかま

森林と野鳥は密接な関係にあります。中でも、「森のお医者さん」とも呼ばれるキツツキのなかまは、森林とは切っても切れない関係にあります。



枯れ木に穴をあけ子育てをするアオゲラ

キツツキのなかまは、木の中に潜む節足動物を主な餌としています。鋭いくちばしと、先端にトゲのある長く伸びる舌を使って、カミキリムシなど穿孔性昆虫の幼虫を巧みに補食します。餌となる動物の多くは、木の枯死を促進する働きを持っており、それを補食することは森林にとって大変好都合

なこととなります。「松くい虫」と呼ばれるマツ材線虫

の媒介に大きく関与しているマツノマダラカミキリの幼虫も補食することから、対策のためにキツツキの巣箱をかける取り組みも一部では行われています。

害虫を駆除してくれる役目の他にも、枯れた木の腐朽を促進して自然の循環サイクルに貢献したり、使い古した巣穴をムササビなど他の動物のすみかとして提供するなど、多くの役割を持っています。

鳥取県内には、アカゲラ、オオアカゲラ、アオゲラ、コゲラの4種のキツツキのなかまが生息しています。これらキツツキのなかまが多く見られることは、その森林が健全であることを物語る指標ともいえるでしょう。

〔緑化センター管理スタッフ 佐藤仁志〕



松くい虫対策のため設置されたキツツキ用の巣箱（細長く、底があけてある）

## ドングリの木がたくさん枯れるのはどうしてですか？

林業課 林業普及スタッフ

### ■ ドングリの木が枯れる原因は何ですか？

最近、島根県西部地域でコナラ・ミズナラといった広葉樹が、葉を赤く染めて枯れる被害が目立ってきました。これは、カシナガキクイムシ（通称「カシナガ」）という小さな昆虫が運ぶ病原菌、通称「ナラ菌」によって起こる伝染病であることが近年になってわかってきました。この被害は本県だけでなく、日本海側の多くの府県でも発生しており、一般には「ナラ枯れ」と呼ばれています。

### ■ カシナガはどうやって木を枯らすのですか？

カシナガの成虫は、5月下旬～6月下旬にかけて前年に枯れた木の幹から飛び出してきました。ナラ菌を持ったこのカシナガは元気な木に飛び移り、木の幹に穴を開けて入り込み、その中で繁殖します。この時、ナラ菌が木の幹の中で広がり、その部分は茶褐色に変色して水分の流れが阻害されることから、葉を付けたまま萎れて枯れてしまいます。通常7月下旬頃から枯れが目立つようになり、最初の年は数本ですが、2年目、3年目になると集団的に枯れることがあります。

### ■ ナラ枯れ被害の特徴は？

- ・カシナガの加害は年齢の高い幹の大きな木が多く、それも特定の木に集中します。
- ・被害木の幹には多数の穿入孔があり、そこから木くずなどが排出されています。
- ・道路沿いなどの明るい林が被害を受けやすい。
- ・被害が連続して拡大するだけでなく、飛び石的に発生することも多い。

### ■ 被害はいつから、どこで、どうして増えたのですか？

本県では、昭和61年に益田市美都町で発見されたのが最初で、その後平成7年には津和野町（旧日原町）でも発生しています。当時は被害量も少なく、被害の発生と終息を繰り返す程度でしたが、平成13年頃から浜田市をはじめ県西部各地で発生するようになり、昨年は江津市以西の全ての市町で発生するようになりました。

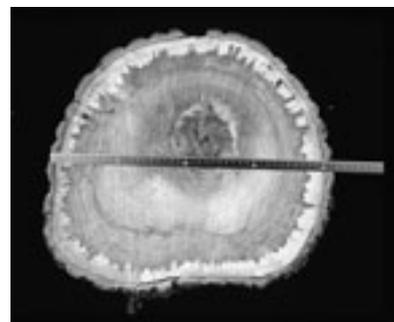
以前のようにコナラなどを炭焼きやシイタケ栽培の原木として利用しなくなり、カシナガの繁殖に適した幹が太く、年齢の高い木が増えたことも被害が拡大した理由のひとつと考えられます。

### ■ 被害を防ぐにはどうしたらいいですか？

- ・まずは、被害木を被害発生区域の外へ持ち出さないこと。
- ・伐り倒すことが可能な被害木なら、成虫発生までにチップ化や焼却処理が有効です。
- ・そのほか、虫が穴から出たり、元気な樹にもぐることを防ぐために、幹にシートを巻き付けたり、薬剤を散布して幹を覆ってしまう方法や、幹の中へ直接薬剤を注入するなどの防除法が提案されています。
- ・これからは幹が太くて年齢の高い木は伐って利用し、森林を若返らせて、被害が発生しにくいような管理を進めることも必要だと考えられます。



カシナガキクイムシ成虫  
(体長は4.5mm程度)



ナラ菌の広がった被害材断面

みんなを守ろう!

山陰の森林・環境を守ろうとするNPO法人やボランティア団体が結集しています。

**森林を守ろう!**  
**山陰ネットワーク会議**

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820

**植物油 生分解性オイル**  
**YSバイオチェーンオイル**

エコマーク認定番号 第04110009号・特許 第3513132号

●全国をネットする総合潤滑油メーカー

**ヤナセ製油株式会社**

本社/06-6939-1251・米子営業所/0859-27-2933



# の 研究

## 竹資源の有効利用技術の開発

中山間地域研究センター 農林技術部 資源環境グループ

### ■はじめに

本県の民有林における竹林面積は、1886～2006年の20年間で8,000haから9,700haへと約20%増加しました。竹材やタケノコ生産の減少、高齢化等の要因により竹林の荒廃が進み、また一方で、竹が造林地や耕作放棄地だけでなく宅地へも侵入するなど、竹林の拡大は大きな問題となっています。このため、竹の有効利用技術の開発が求められており、当センターでは竹材の農業や畜産への有効活用法を検討しています。

### ■竹パウダーの作製と畜産利用

竹の有効利用のため、竹材はチップシュレッダで1次破砕し、その後植繊機でパウダー化します（写真-1）。



チップシュレッダ



竹チップ



写真-1



植繊機



竹パウダー

作製した竹パウダーを配合した飼料を和牛に給与しました（写真-2）。平成18年11月～平成19年6月の8ヶ月間の給与試験では、老廃雌牛肥育では1日当たりの増体重が0.77kg、子牛肥育では1.08kgでした。これは県の雌肥育マニュアルに示された増体成績を上回るものでした。



写真-2

### ■竹パウダーの農業利用

- ①竹パウダーを使用して水稻育苗マットやソバ・スプラウト栽培用マットを試作し、育苗試験を実施しました（写真-3）。双方とも通常の育苗土と同等の発芽及び生育を示しました。水稻苗では生長量は通常の培土と比較して前半は遅れぎみでしたが後半旺盛になりました。根の長さについては短くなる傾向が見られました。
- ②竹パウダーでペレットを作製しました（写真-4）。竹パウダーに含まれるリグニンの接着効果をもとに、含水率を12%前後に調整しました。この竹ペレットを水田に散布し雑草抑制試験を実施しました。その結果雑草の抑制効果を認めました。



水稻用・ソバ・スプラウト栽培用マット  
写真-3



竹材より作製したペレット  
写真-4

### ■成果の活用と今後の試験

新鮮な竹パウダーは腐敗しやすいことから、長期保存が可能なサイレージ化や混合飼料化の技術を開発することとしています。今後、竹の伐採・搬出にかかるコストを算出するため、雲南市三刀屋町中野地区の38aの竹林で調査を実施する予定です。

（主任研究員 島田靖久）

## 社団法人 島根県森林土木協会

### 森林整備のアシスタント

- ① 森林土木事業の促進
- ② 森林土木技術の開発・普及
- ③ 森林土木事業の測量・調査・設計及び施行管理の受託
- ④ 保安林解除・林地開発許可等の設計（業務受託）

松江市母衣町55林業会館  
TEL: (0852) 21-2669  
FAX: (0852) 21-2231  
E-mail: sima-sdk@axel.ocn.ne.jp

島根県の恵み豊かな自然、  
緑豊かな森林を撮ろう!!

2008

# 『しまねの森林』フォトコンテスト

(森林・林業総合情報誌)

### テーマ「しまねの森林」

森林には、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止、湧水や洪水の緩和、保健・レクリエーションなどの多面的な機能があります。身近な森林や山々、シンボリックな樹木、森と人とのふれあい、森に育まれていた野鳥などの写真をご応募下さい。

### 部門

◆中学・高校生部門 ◆一般部門

### 応募作品

一人何点でも応募いただけます。ただし、島根県内で撮影した未発表のものに限ります。デジタルカメラの場合、合修正は不可です。

### 写真サイズ

2Lサイズから4切までとします。台紙貼り付けは不可です。(スナップ写真大歓迎)

### 応募方法

必要事項を記入した応募用紙を作品の裏側にセロテープでとめてご応募下さい。中学生・高校生部門の応募にあたっては必ず保護者の同意を得て下さい。

### 応募締切

平成20年7月31日(木) 当日消印有効

### 応募・お問い合わせ先

「しまねの森林」発行委員会事務局  
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地  
島根県庁林業課林政企画グループ TEL0852-22-5158

### 表彰

各部門別に、最優秀賞1点(賞状・図書カード1万円・木製記念品)、優秀賞1点(賞状・図書カード5千円・木製記念品)、入選数点(図書カード3千円)、佳作数点(図書カード2千円)

### 審査

主催者が委嘱する審査委員会において選考、決定します。森林・林業総合情報誌「しまねの森林」(No.13)平成20年10月号の紙面に入選作品を掲載のうえ発表します。また、入賞者には直接通知します。

### 応募上の注意

- ◆人物を被写体とする場合は、応募に際しては必ず本人の承諾を得て下さい。
- ◆入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。使用したフィルム(ポジ、ネガ)、画像データ(CD-Rなどのメディア)を後ほど提出していただきますので保管をお願いします。
- ◆応募作品は原則として返却しません。入賞作品は返却しません。ただし、返信用封筒(切手貼付、宛名明記)を同封で応募のあった返却希望者には、審査終了後返却します。
- ◆応募作品は、「しまねの森林」ほかの広報に使用することがあります。

主催/「しまねの森林」発行委員会・島根県

## 2008「しまねの森林」フォトコンテスト 応募用紙

住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL ( ) \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ( ) 才

職業または学校名 \_\_\_\_\_

撮影場所 \_\_\_\_\_

撮影年月 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

作品タイトル \_\_\_\_\_

元気がでる!

島根県民の森  
飯石郡飯南町小田

## 県民の森へ行こう!!

10月~2月のイベントの御案内

### 《県民の森ふれあい講座》

申込先: 県民の森研修館 TEL 0854 (76) 3119

- ◆10/20(土) クラフト教室(定員20名)
- ◆10/28(日) 紅葉のブナ林観察会(定員20名)
- ◆11/3(土) 紅葉の県民の森トレッキング(定員20名)
- ◆1~2月 スノーシューで雪の森を歩こう(定員各20名)

その他にも《**県民の森オープン講座**》、《**森林スキルアップ研修**》などのイベント・研修を開催しています。

詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.chusankan.jp/mori/>

身近な自然に親しもう! 島根県立ふるさと森林公園  
触れ合おう! 松江市宍道町佐々布

## 「里山自然塾」に参加してみませんか?

ふるさと森林公園を管理している島根県立緑化センターでは、公園内の自然を活用したイベントの一環として里山自然塾を年間12回開催しています。

### 11月~1月の講座の御案内

- ◆11/4(日) 第8回講座「晩秋の草木を学び、こけ玉にいてみよう」
- ◆12/2(日) 第9回講座「里山素材のリースを作ろう」
- ◆1/6(日) 第10回講座「七草を学び食べてみよう」

- ◇参加料: 無料
- ◇募集人数: 20~30名(先着順、事前申し込みが必要です。)
- ◇申込方法: ふるさと森林公園森林学習展示館  
TEL 0852 (66) 3586



島根県立古代出雲歴史博物館  
企画展「弥生王墓誕生」  
展示図録絶賛販売中!

定価 1,000円

ご注文は  
もよりの書店・ミュージアムショップ  
ハーベスト出版まで

HARVEST **ハーベスト出版** TEL 0852-36-9059  
FAX 0852-36-5889

E-mail harvest@tprint.co.jp  
<http://www.tprint.co.jp/harvest/>



安全・安心・美味しい  
日本産原木しいたけ栽培を応援します

財団法人 **日本きのこセンター**  
三次支所

広島県三次市皇敷町916-2 (三次地方卸売市場内)  
TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012



**林業・木材製造業  
労働災害防止協会  
島根県支部**

〒690-0886 松江市母衣町55  
林業会館3F  
TEL 0852-21-3852  
FAX 0852-26-7087

**森林の緑を守り、緑を育てる**

—主要販売品目—

- ◎林木苗畑（除草剤、殺虫、殺菌剤）
- ◎松くい虫防除薬剤（スミバインMC、林業用NCS）
- ◎林地除草剤（フレノック粒剤、ザイトロンフレノック微粒剤）
- ◎樹幹注入剤（ネマノン、グリーンガードエイト、マツガード）

**山陽薬品株式会社 島根支店**

〒690-0011 松江市東津田町1252  
TEL (0852) 23-3721(代) FAX (0852) 27-5322



「緑の募金」は、県民参加による緑化活動を通じて地域に還元されます。今年度から秋の統一緑化運動として個人、学校、企業等へ記念植樹用の苗木を配布する「身近な森づくり運動」を展開しております。

詳細は

<http://www.shimane-green.or.jp/>

**(社)島根県緑化推進委員会**  
(特定公益増進法人)

松江市母衣町55 島根県林業会館内  
TEL(0852)21-8049  
FAX(0852)21-8231

育てよう  
未来につなぐ  
森づくり

森林は、いつも危険と隣りあわせ

**森林国営保険**

に入りませんか



雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流出などの損害

- 樹種、林齢に制限はありません。  
(天然林、竹林は除く)
- 1年単位で、ご希望の年数で加入できます。
- 火災、風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害、噴火災の8つの自然災害が対象。

最寄の森林組合・森林組合連合会・県庁森林整備課までお気軽にお問い合わせください。

**サンケイ化学の松くい虫防除資材**

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミバイン®MC

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー®

松枯れ防止樹幹注入剤

グリーンガード®・エイト

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

**サンケイ化学株式会社 大阪営業所**  
大阪市淀川区西中島4-5-1 TEL 06(6305)5871

新発売 散布用薬剤

モリエート®SC

伐倒木くん蒸用生分解シート

ピオフィレックス®

マツノマダラカミキリ成虫誘引剤

マダラコール®

**除草はおまかせ下さい!**

竹類に効果抜群です!

○ **テンレート**

非農耕地用除草剤

◎ **日本カーリット株式会社**

九州営業所  
福岡市博多区博多駅前1-4-4  
☎ (092) 473-6521  
FAX (092) 451-8195

クズ株処理剤

○ **グンコ** 液剤

1株一ワンブッシュ 経済的

◎ **野津善助商店**

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10  
☎ (0852) 53-0670(代)  
FAX (0852) 53-0674  
E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ



**大和森林株式会社**

代表取締役社長 権 名 宜 三

本社 〒690-0001 島根県松江市東朝日町87番地6 ☎(0852)21-6222(代)  
営業所 松江 ☎(0852)21-6223(代) 鳥取 ☎(0857)24-4620(代) 益田 ☎(0856)22-4824(代)  
三次 ☎(0824)64-0433 岡山 ☎(086)232-5278

## 広域

### グリーンマイスター養成研修・ 新林業機械作業システム実習

- 日時:平成19年9月24日(火)~10月5日(金)
- 場所:飯南町小田  
島根県県有林



県庁林業課

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

## 松江

### 玉湯中学校 「樹木博士講座」

- 日時:平成19年9月27日(木)
- 場所:松江市玉湯町  
玉湯球場周辺山林



東部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-matsue/>

## 雲南

### 間伐競技会に向けて 研修会を開催！

- 日時:平成19年10月5日(金)
- 場所:奥出雲町佐白  
林業公社造林地



東部農林振興センター雲南事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

## 出雲

### しまねフォレストネットワーク 出雲・森の再生活動

- 日時:平成19年8月19日(日)
- 場所:出雲市今市町  
一ノ谷公園



東部農林振興センター出雲事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

## 浜田

### ナラ枯れ被害対策 検討会を開催

- 日時:平成19年10月5日(金)
- 場所:浜田市片庭町  
浜田合同庁舎大会議室



西部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

## 県央

### 間伐競技会に向けて 練習会を開催！

- 日時:平成19年10月9日(火)
- 場所:美郷町別府  
林業公社造林地



西部農林振興センター県央事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

## 益田

### 西益田小学校の 森林教室に行ってきました！

- 日時:平成19年9月26日(水)
- 場所:益田市匹見町  
裏匹見峡レストパーク



西部農林振興センター益田事務所

URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-masuda\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/)

## 隠岐

### 島外初出荷！ 隠岐の島産原木生しいたけ

- 日時:平成19年10月1日(木)
- 場所:隠岐の島町東郷  
吉崎工務店



隠岐支庁農林局

URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-oki\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/)

## 農大

### 道具の手入れも 怠りません

- 日時:平成19年9月27日(木)
- 場所:飯南町上来島  
農業大学校飯南キャンパス



島根県立農業大学校森林管理科

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>